

平成30年度肥後っ子いきいき読書環境づくり第2回講座

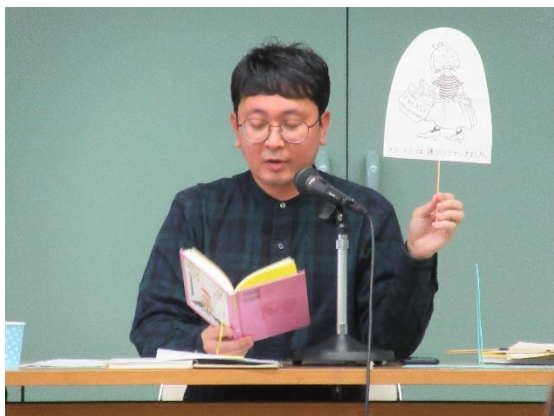
「子どもと本をつなぐために」



- 主催** 熊本県立図書館
- 期日** 平成30年12月10日(月)
9:50~15:00
- 会場** 熊本県立図書館3階大研修室
- 講師** 午前の部 小宮 由 氏 (翻訳家)
午後の部 秋田 倫子 氏 (天草拓心高等学校 学校司書)
- 参加者** 73人
- 対象** 公共図書館職員、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校図書館職員
(司書・司書教諭を含む)

午前の部 講義 「本を読むこと、生きること」(講師：小宮 由 氏)

絵本や子どもの文学とは何か、なぜ本を読むのかなど、さまざまな本を紹介しながら、講師の今までの経験や、翻訳家として子どもの本に携わること、家庭文庫の活動も交えながらお話いただきました。祖父の北御門二郎氏とトルストイについてのお話や、詩や児童書の朗読もしていただきました。選書や絵本の読み方についてもお話いただきました。



午後の部 講義及びミニワークショップ

「熊本地震の教訓と利用者を引き込む図書館装飾」

(講師：秋田 倫子 氏)

まず、熊本地震による高等学校図書館の被災状況を、写真やグラフも交えながらお話いただきました。司書として防災のためにできる具体例として、棚を選ぶ基準や棚の固定、レイアウトの検討などがありました。

次に、講師の勤務校での図書館装飾の実例を写真で紹介しながら、お話いただきました。最後に、ミニワークショップで“御守しおり”を製作しました。



参加者の感想（アンケートより一部抜粋）

○午前の部

- ・「文学」についてあらゆる角度からお話しいただき、忘れかけていた「初心」を思い起こすことができました。熊本出身の先生でしたので、身近に感じることもでき、ストーンと胸に落ちる内容で、とても良かったです。（小学校）
- ・本の素晴らしさの再確認や、北御門二郎氏のことを知ることができ、大変感動いたしました。またぜひお話を伺いたいと思いました。（中学校）
- ・実際に読み聞かせについてのアドバイスや選書について教えていただいたので参考になりました。（中学校）
- ・非常にわかりやすく、図書館員としての心得を感じることができました。（高等学校）
- ・選書の重要性を強く認識し、これからは生かしていきたいと思いました。（特別支援学校）
- ・考えたこともなかった本当の意味での「本を読むこと」の意味が今日理解できたように思えます。（公共図書館）

○午後の部

- ・震災時の図書館の様子が詳しく分かり、耐震、安全な図書館の重要さが分かりました。（公共図書館）
- ・棚の選び方が参考になりました。（公共図書館）
- ・自分では思いつきもしなかったものを提案してもらったことで、自分が働いている図書館にどう応用できるか考えることができました。（公共図書館）
- ・自分の学校でも取り入れやすいアイデアをたくさん学べました。図書室を変えていくのが楽しみになりました。（小学校）
- ・心をくだいて選書し、整理した図書を多くの生徒に利用してほしいという気持ちが伝わりました。（高等学校）
- ・これから受験シーズンなのでぴったりのワークショップでした。（中学校）